

温井ダム

温井ダムの建設は 1977 年に始まり、2002 年に完了しました。太田川の支流、滝山川に位置するこのダムは、広島市の洪水制御ほか複数の機能を果たし、広島と呉の町、そして瀬戸内海沖の島々にも水道水を安定的に供給しています。ダムは、干ばつや水位が下がっている間、魚などの川の生き物を支えています。

巨大なアーチ型の構造は見学者に開放されており、学校の課外授業やダム愛好家に人気の目的地となっています。ダムの資料館では、写真とモデルを通して温井ダムの歴史と科学を知ることができます。また構造物の見学は、地下のエレベーターに乗って涼しいトンネルを抜けるとダムを間近で見することもできます。台風や雨季に備えて、計画的な放流が春から初夏に行われ、毎秒 30 トンの水が川に流入します。見学者は上から見ることもできますが、下に降りると放流されるスプレーの水の力を直接感じるすることができます。